

2026年3月期第1四半期 決算補足説明資料

栄研化学株式会社（証券コード：4549）

2025年7月31日

2026年3月期 第1四半期決算概要

エグゼクティブサマリー

外部環境

- ✓ 世界的な資源価格の高騰や地政学的リスク、米国の通商政策や主要国の金融政策等の影響
- ✓ 円安や原油高による物流及び原材料調達などのコスト上昇継続

当社業績

- ✓ 主に海外向けの便潜血検査試薬、尿検査試薬及び医療機器が堅調に推移し、前年同期比で増収増益

トピックス

- ✓ 野木工場 新製造棟が竣工
- ✓ 連結子会社「栄研生物科技（中国）有限公司」の持分譲渡
- ✓ 稼ぐ力強化への取り組み
- ✓ 24年10月31日発表の自己株式取得を終了（200万株）
- ✓ FTSE Blossom Japan Index 構成銘柄に初選定

2026年3月期Q1業績

金額単位：百万円

	25年3月期 Q1実績	26年3月期 Q1実績	増減額	増減率	26年3月期	
					通期予想	進捗率
売上高	9,519	10,197	678	7.1%	42,200	24.2%
売上原価	5,566	6,094	528	9.5%	25,150	24.2%
売上総利益	3,953	4,103	150	3.8%	17,050	24.1%
販売費及び一般管理費	3,369	3,302	△67	△2.0%	13,800	23.9%
営業利益	583	800	217	37.2%	3,250	24.6%
経常利益	641	813	172	26.8%	3,100	26.2%
当期純利益	486	600	113	23.4%	3,770	15.9%
研究開発費	1,049	973	△76	△7.3%	4,040	24.1%

主に海外向け販売が堅調に推移したことにより、前年同期比で増収増益
 第2四半期に子会社株式売却益19億円（概算）を特別利益として計上見込み

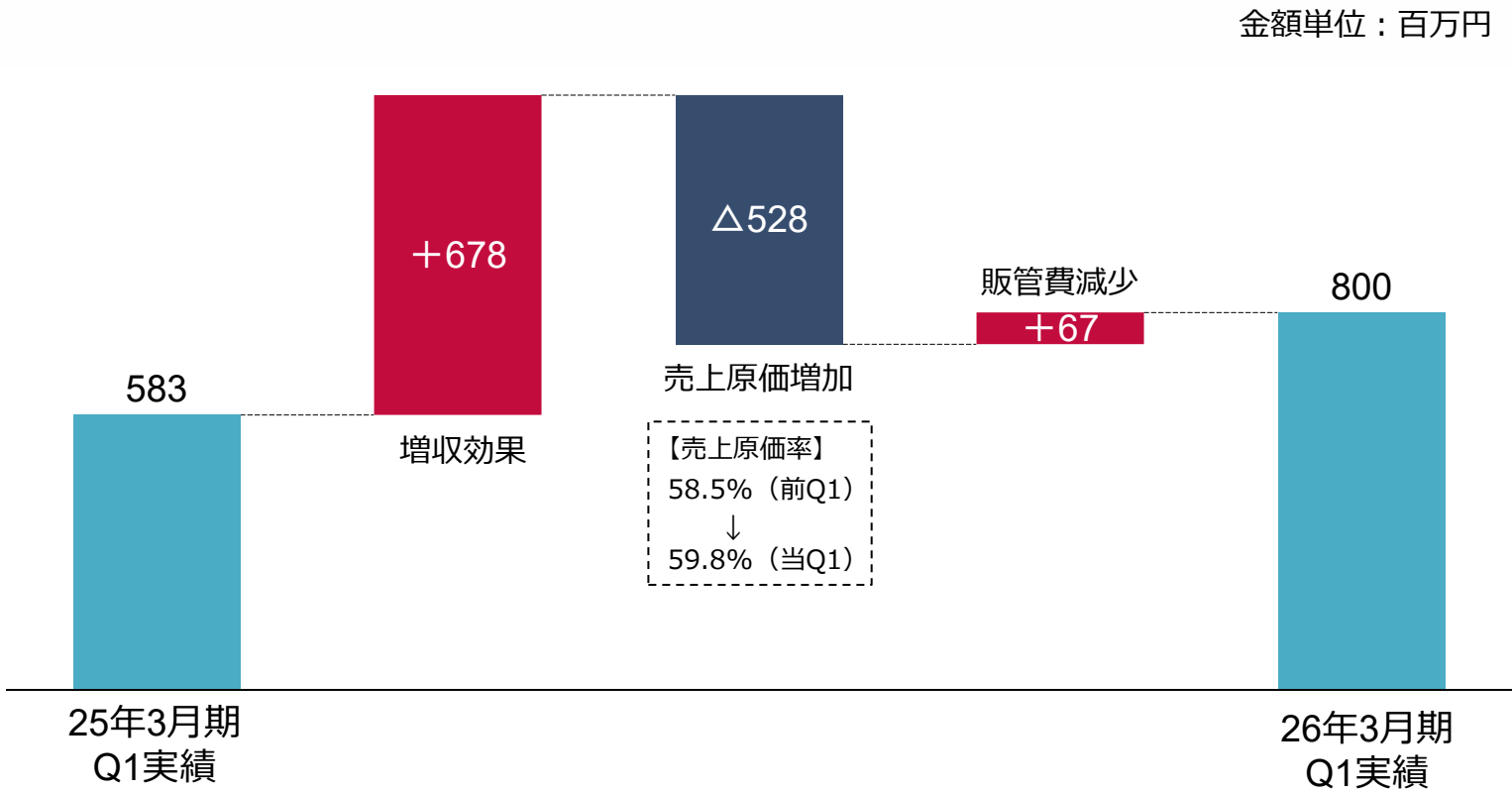
セグメント別売上高

金額単位：百万円

	25年3月期 Q1実績	26年3月期 Q1実績	増減額	増減率	26年3月期	
					通期予想	進捗率
便潜血	3,120	3,450	329	10.6%	13,640	25.3%
免疫血清（便潜血を除く）	2,481	2,505	23	1.0%	9,680	25.9%
尿検査	1,122	1,187	65	5.9%	4,740	25.0%
微生物	1,058	1,081	23	2.2%	4,900	22.1%
生化学	150	149	△ 1	△0.8%	610	24.4%
器具・食品環境	512	473	△ 38	△7.5%	1,860	25.4%
遺伝子関連	232	391	159	68.8%	2,440	16.0%
医療機器・その他	840	956	115	13.7%	4,330	22.1%
合計	9,519	10,197	678	7.1%	42,200	24.2%

海外向けの便潜血、尿検査及び医療機器が堅調に推移
遺伝子関連は、国内の百日咳検査の需要増により増収、予想に対してはUSAID閉鎖の影響により海外の成長速度が鈍化

営業利益増減の分析

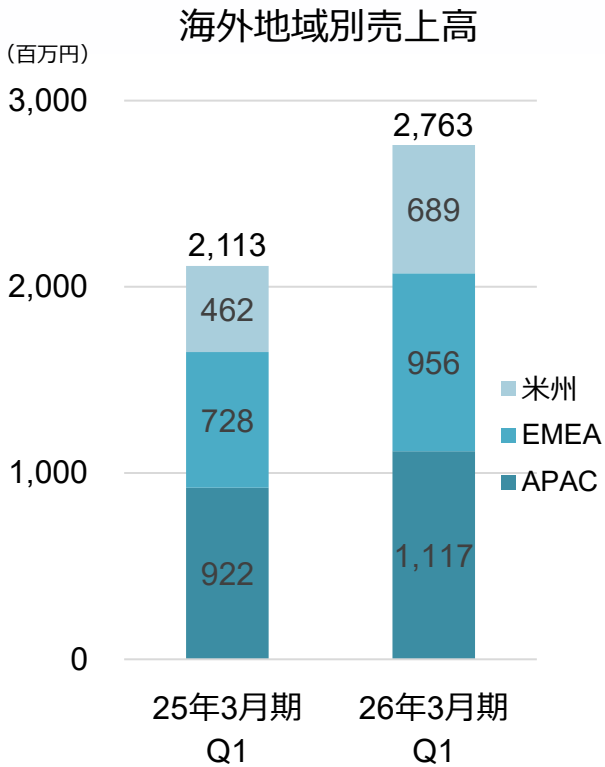


【売上原価率上昇の主な要因】 セールスマックスの変化

【販管費減の主な項目】 研究開発費△76百万円

地域別売上高

	25年3月期 Q1実績	26年3月期 Q1実績	増減額	増減率	金額単位：百万円	
					26年3月期 通期予想	進捗率
国内	7,405	7,434	28	0.4%	30,150	24.7%
海外	2,113	2,763	649	30.7%	12,050	22.9%
海外売上高比率	22.2%	27.1%	—	—	—	—
合計	9,519	10,197	678	7.1%	42,400	24.2%
米州	462	689	227	49.2%	2,530	27.2%
EMEA	728	956	227	31.3%	5,260	18.2%
APAC	922	1,117	194	21.1%	4,260	26.2%



- (米州) 便潜血検査試薬・機器ともに堅調に推移
- (EMEA) 前年同期は便潜血で一過性の減収要因があったが、当期は対象年齢拡大や採便容器配布方法拡充などが寄与し各国堅調に推移
通期予想に対してはUSAID閉鎖の影響により結核遺伝子検査TB-LAMPの成長速度が鈍化
- (APAC) 尿検査試薬・機器ともに堅調に推移

米州：北米および中南米
EMEA：欧州およびアフリカ・中東・ロシア〔途上国向け結核検査薬（TB-LAMP）は欧州地域に含む〕
APAC：アジア・オセアニア〔海外向け尿検査用試薬（シスメックス(株)との提携）の売上はすべてアジア地域に含む〕

トピックス

1. 野木事業所 新製造棟竣工
2. 連結子会社「栄研生物科技（中国）有限公司」の持分譲渡
3. 稼ぐ力強化への取り組み
4. 自己株式取得終了
5. FTSE Blossom Japan Index 初選定

1. 野木事業所 新製造棟竣工



名称：ICPP（Immunochemical Product Plant）棟
竣工：2025年6月30日
稼働：2025年9月（2026年2月初出荷予定）
総工費：65億円
生産品目：免疫血清検査用試薬

建設の狙い

設備更新・生産体制の増強

FIT・ラテックス試薬
・迅速診断キット

安定供給・生産効率の向上

製品生産能力の強化
オートメーション化・省人化推進

業務の統合・DX化・迅速化

1人あたりの生産金額の向上
設計から製造への移管迅速化

2. 連結子会社「荣研生物科技（中国）有限公司」の持分譲渡

対象連結子会社	荣研生物科技（中国）有限公司 中華人民共和国上海市浦东新区哈雷路1058号
---------	--

譲渡契約締結日	2025年7月31日
持分譲渡実行日	2025年9月（予定）

今後の見通し

- ✓ 本持分譲渡に伴い、荣研生物科技（中国）有限公司は、当社の連結対象子会社から除外
- ✓ 2026年3月期連結決算において子会社株式売却益19億円（概算）を特別利益として計上見込み
- ✓ 2026年3月期の業績予想に織り込み済み

持分譲渡の理由

今後の製品ポートフォリオを見直した結果、荣研中国での来料加工を当社の野木工場に集約することで生産の効率化を図れること、荣研中国を經由して販売していた当社製品を当社の直接販売にすることで経営効率が向上することから、荣研中国の持分を譲渡することが当社の企業価値向上に資すると判断

3. 稼ぐ力の強化への取り組み

	施策	28年3月期 営業利益率 改善目標値	26年3月期Q1 進捗状況
原価 低減	- 低収益製品群の整理・撤退 - 製品剤型の整理・改廃 - 需要予測の精度向上 - 工場ロスコストの削減 - 尿検査、免疫血清検査の生産拠点を野木工場へ集約 - データ駆動型スマートファクトリーへの取り組み	+ 2.0 pt	✓ 低収益製品群および製品剤型の整理開始、一部製品で価格改定と改廃 ✓ 尿検査用試薬の製造拠点を野木工場へ集約、製造移管完了 ✓ 免疫血清製品群における生産工程の自動化に向けた検討開始
販管費 低減	- 製品ポートフォリオに基づく委託研究費の適正化 - 人員構成・要員計画の最適化による労働生産性の向上	+ 3.2 pt	✓ 製品ポートフォリオに基づく研究開発人員の再配置

- 全事業所で社長キャラバンを開始（25年7月～）
 - ✓ 社長の瀬川が直接従業員に目指すROIC経営を説明
 - ✓ 今期中にタウンホールミーティング22回、座談会29回（予定）



4. 自己株式取得終了

2024年10月31日取締役会の決議に基づく自己株式の取得を終了

【 2025年7月7日時点の累計】

- 取得した株式の総数 200万株
- 株式取得価額の総額 4,344,992,400円

(再掲) 自己株式の取得に関する取締役会での決議内容 (2024年10月31日)

- 取得し得る株式の総数 200万株 (計50億円) 上限
- 株式の種類 普通株式
- 取得期間 2024年11月1日～2025年7月31日
- 取得方法 東京証券取引所における市場買付

5. FTSE Blossom Japan Index 構成銘柄に初選定

2025年6月、ESG投資の主要指標である「FTSE Blossom Japan Index」に初選定
セクター対象の「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄にも3年連続選定

初選定



**FTSE Blossom
Japan Index**

3年連続選定



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

FTSE Blossom Japan Indexはグローバル インデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたもの。FTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用される。
「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクター内で相対的にESG評価が優れた企業が選定される。

＜参考＞ 栄研グループのサステナビリティ：<https://www.eiken.co.jp/sustainability/>
ESGデータ集（2025年7月更新）：https://www.eiken.co.jp/sustainability/esg_data/

Saving Your Health



EIKEN CHEMICAL CO., LTD.

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。